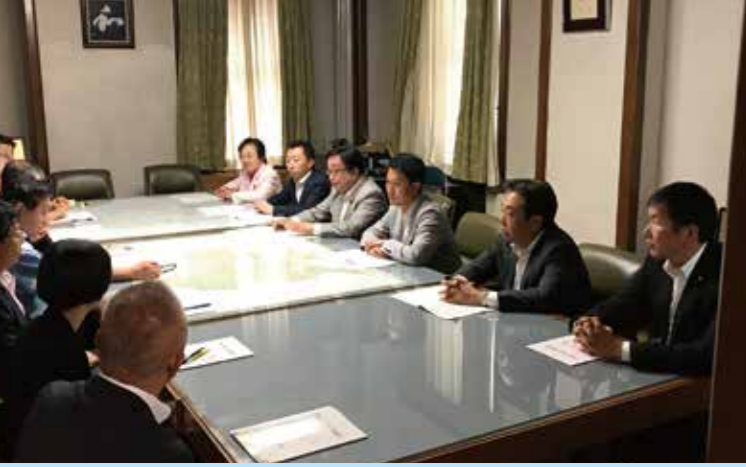


「安心・豊かさ・平和」を将来世代に引き継ぐために

私たち名古屋民主市議員団は、日々の活動の中で取りまとめた政策提言を、昨年9月に「平成30年度 予算要望書」として名古屋市長に提出しました。今年1月、財政局から査定内容が示された後、改めて市長に対し再要望をしました。その結果平成30年度に予算化された主な施策をここにご報告いたします。

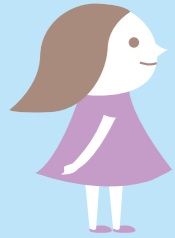


平成30年度予算要望 2017年9月11日



平成30年度予算再要望 2018年1月15日

チルドレン ファースト



子育て世代に選ばれるまちをつくります

私たちは、子どもたちの育ちと学びを、政治の力で支えます。子どもたちが健やかに育つ、バランスの良い子育て支援を目指しています。そのためにはまずパパママが暮らしやすいまちであること。家族が笑顔で暮らせる社会を守ります。

- 保育所等利用待機児童対策
- 特定不妊治療費助成の拡大
- 保育士確保支援事業
- 私立幼稚園就園奨励補助の増額
- 保育案内人の配置
- ひとり親家庭応援専門員の配置
- 児童虐待対応支援員の配置
- 科学館でのノーベル賞受賞顕彰施設整備の設計
- 東部児童相談所の開設

安心・豊かさ 平和の継承



市民・企業・行政の総力で大規模災害へ備えます

私たちの最大の使命は、市民の生命、財産を守ることです。大規模地震や災害対策の充実をはかり、もしもの時に備えます。未来を担う子どもたちへ、平和で豊かな日本のバトンをつないでいけるよう、責任ある“いま”の担い手として不断の努力を続けます。

- 救急隊の増隊及び人員の確保
- 木造住宅密集地域における初期消火資器材の導入
- 災害対策に係る次期実施計画の策定
- 災害用食糧等の備蓄
- 消防団を中核とした地域防災力の強化
- 地区防災カルテの作成
- 消防団装備の充実

社会を、 幅広い世代で 支え合う

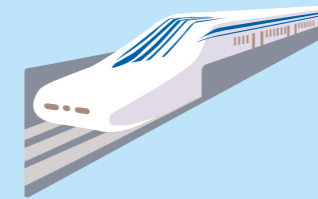


シニア世代の皆さんと共に、地域の活力を高めます

敬老パスには福祉としての側面だけでなく、使っていただくことで経済効果と医療費抑制効果が見込まれています。シニア世代の方にいきいきと社会と関わりを持っていただけるよう、幅広い世代の方が元気に社会参画できる環境づくりを行います。

- 敬老パスの65歳交付堅持と上飯田連絡線への適用拡大
- ヘルプマーク・ヘルプカードの周知と普及啓発
- 名城線・名港線への可動式ホーム柵の整備
- 民間特別養護老人ホームにおける多床室の改修補助
- 地下鉄駅エレベーター等の整備
- 陽子線治療に関する健康保険適用の拡大
- ユニバーサルデザインタクシーの導入補助
- 東部医療センターの病棟改築

都市魅力 の向上



国際的な都市競争を勝ち抜く、強い名古屋をつくります

観光都市としての魅力を高め、世界から選ばれる「名古屋」をめざします。2027年のリニア中央新幹線の開業を見据えた、名古屋駅や栄を中心としたまちづくりの推進のみならず、名古屋城や金シャチ横丁を観光資源とした魅力向上など、具体的な取り組みを行っていきます。

- フランス・ランス市等の歴史まちづくり調査
- 栄地区まちづくりプロジェクトの推進
- 第20回アジア競技大会の推進
- 名古屋駅周辺の地域資源を活かしたまちづくりの検討
- 名古屋城を核とした魅力向上推進事業
- 国際展示場第1展示館の移転改築等
- 堀川における水上交通の活性化を検討



名古屋民主市議団に新たな仲間が加わりました

先の東区補欠選挙において、**くにまさ直記氏**が当選しました。2月の定例会では本会議に登壇し、待機児童対策として「大規模マンションにおける保育施設の設置促進について」質問をし、子ども青少年局から保育所併設の新築マンションの推進について前向きな答弁を引き出しました。



ランス ノートルダム大聖堂



金シャチ横丁



名古屋城

2018年 春号

[政策ポリシー]

- チルドレンファースト
- 社会を幅広い世代で支え合う
- 安心・豊かさ・平和の継承
- 都市魅力の向上

Nagoya Minshu Press

News Letter

Check! 部活を守ります!



先日、小学校の部活動が廃止になってしまうのではないかと報道がありました。

結論から言えばサッカーやバスケットボールなどのスポーツ活動、合唱や吹奏楽など文化活動はなくなりませんし、今まで通り運動場や体育館、教室も使用できます。

学校の先生が子どもと向き合う時間を増やすことを重点におき、教員に代わる指導者を確保していくという方向性が教育委員会から示されましたが、「子どもたちの活動機会がなくなる」ことは絶対にありません。今後も子どもたちが何も心配せずに学校生活を送れるよう、私たちは取り組んでいきます。

City of Nagoya

議会だより

2月定例会

～代表質問より～

Pick up

市立病院の経営形態のあり方について

「市立病院は、依然として経営が厳しい状態にあり、安定した経営のもとで、安心・安全で質の高い医療を継続的に提供するために、市立病院を市立大学の附属病院にすることも検討してはどうか。」の問いに対し、

病院局長は「早急にメリット・デメリット等を調査・分析し、地方独立行政法人化の選択肢のひとつとして『市立大学附属病院化』を検討していく。」と答え、河村市長からは「賛成です。」との答弁がありました。

認知症施策の推進について

「名古屋市で認知症による行方不明者が485名いると聞く。本市としてさまざまな取り組みと課題意識を持っているのはわかるが、この行方不明者を0にする方策が必要ではないか。なかでも地域で支える仕組みづくりが最も大切ではないか。」の問いに対し、

健康福祉局長は「認知症の方や、介護するご家族への支援はもちろんであるが、地域の見守りの目を増やす取り組みをより一層推進していく。」との答弁がありました。

名古屋民主市議団を代表して、政審会長である山田昌弘氏が登壇し、本会議において、持ち時間75分の大部分を「次代を担う子どもたちが希望をもって生きていくことができる社会をつくること」をテーマに、8項目について質問をしました。その中でも、2つの項目について、詳しくご報告いたします。



まつもと
市の政は、
市民のためにこそ。

税や役所のあり方は、いつもみんなの関心事であるはず。そして時代にあわせ、常にその適正な額や目的を探り続けることが政治の営みです。市政に終わりはありません。子どもたちのために、持続可能な都市をめざし努力し続けます。



はっとり将也 Hattori Masaya

北区

- [役職]
- 経済水道委員会 委員
 - 都市活力向上特別委員会 委員
 - *名古屋民主市会議員団 団長

市政につなぐ。
あなたの声、その想い。

家庭を持つ世代が、希望を持って子を産み育て、子どもたちを守り学べる環境づくりに全力を尽くします。また「社会的弱者」と言われる方々の声、想いを市政につなぎ、希望ある暮らしの実現に取り組みます。



うえぞの晋介 Uezono Shinsuke

西区

- [役職]
- 教育子ども委員会 委員
 - 産業・歴史文化・観光戦略特別委員会 委員

声なき声を
議会に届けます!

子育て真っ最中の松坂世代。子どもたちが大人になっても安心できる街づくりを中区から市議会に提言します！
初志貫徹！下意上達の街づくり！



塚本つよし Tsukamoto Tsuyoshi

中区

- [役職]
- 総務環境委員会 委員
 - 都市活力向上特別委員会 副委員長

若さで何事にも
挑戦します!

「子どもと若者が夢を持って暮らせる社会」の充実をモットーに、平成生まれの若手議員が全力で市政に取り組みます。今までになかった発想や切り口で、積極大胆に政策提案を行います。



くにまさ直記 Kunimasa Naoki

東区

- [役職]
- 総務環境委員会 委員
 - 防災・エネルギー対策特別委員会 委員

2018年 春号

[政策ポリシー]

- チルドレンファースト
- 社会を幅広い世代で支え合う
- 安心・豊かさ・平和の継承
- 都市魅力の向上

Nagoya Minshu Press

News Letter

Check! 部活を守ります!



先日、小学校の部活動が廃止になってしまうのではないかという報道がありました。

結論から言えばサッカーやバスケットボールなどのスポーツ活動、合唱や吹奏楽など文化活動はなくなりませんし、今まで通り運動場や体育館、教室も使用できます。

学校の先生が子どもと向き合う時間を増やすことを重点におき、教員に代わる指導者を確保していくという方向性が教育委員会から示されましたが、「子どもたちの活動機会がなくなる」ことは絶対にありません。今後も子どもたちが何も心配せずに学校生活を送れるよう、私たちは取り組んでいきます。

City of Nagoya

議会だより

2月定例会

～代表質問より～

Pick up

市立病院の経営形態のあり方について

「市立病院は、依然として経営が厳しい状態にあり、安定した経営のもとで、安心・安全で質の高い医療を継続的に提供するために、市立病院を市立大学の附属病院にすることも検討してはどうか。」の問いに対し、

病院局長は「早急にメリット・デメリット等を調査・分析し、地方独立行政法人化の選択肢のひとつとして『市立大学附属病院化』を検討していく。」と答え、河村市長からは「賛成です。」との答弁がありました。

認知症施策の推進について

「名古屋市で認知症による行方不明者が485名いると聞く。本市としてさまざまな取り組みと課題意識を持っているのはわかるが、この行方不明者を0にする方策が必要ではないか。なかでも地域で支える仕組みづくりが最も大切ではないか。」の問いに対し、

健康福祉局長は「認知症の方や、介護するご家族への支援はもちろんであるが、地域の見守りの目を増やす取り組みをより一層推進していく。」との答弁がありました。

名古屋民主市議団を代表して、政審会長である山田昌弘氏が登壇し、本会議において、持ち時間75分の大部分を「次代を担う子どもたちが希望をもって生きていくことができる社会をつくること」をテーマに、8項目について質問をしました。その中でも、2つの項目について、詳しくご報告いたします。



おすすめ。
共生の街づくり!

障害者が暮らしやすい社会は誰もが暮らしやすい社会だと確信しています。それを少しずつでも実現するために、市議員として、共に生きるまちの基盤作りを進めていきます。



さいとうまこと Saito Makoto 千種区

[役職] • 都市消防委員会 委員
• 公社対策特別委員会 委員

声なき声に耳を傾ける
政治を実現します。

政治は派手なことだけでなく、地道に生活に寄り添い、声なき声を集めることから始まる私は信じています。目立たなくても本当に困っている人に寄り添い、そういった方を少なくするよう取り組んでいきます。



山田昌弘 Yamada Masahiro 千種区

[役職] • 総務環境委員会 副委員長
• 防災・エネルギー対策特別委員会 委員長
*名古屋民主市会議員団 政審会長

敬老パスを2020年まで
には私鉄利用できるよう
取り組んでいます!

私の住む守山区は少子高齢化の時代において子どもがどんどん増えているありがたい地域であり、最も人口の多いのは私と同じ40歳代です。責任ある世代の中心となり、各世代に行き届いた政策を提案できるよう取り組んでいきます。



小川としゆき Ogawa Toshiyuki 守山区

[役職] • 議会運営委員会 副委員長
• 土木交通委員会 委員
• 安心・安全なまちづくり対策特別委員会 委員
*名古屋民主市会議員団 幹事長

働く母の目線で市政を
みつめ、次の世代へ想い
をつなぎます。

私の大好きな名東区は子育て世代が多く住む街です。働くお母さんの目線で、次世代を担う子ども達をしっかりと政治の力で支えていく事が大切だと考えます。今を一生懸命生きる方達の想いを、市政へとつなげて行きます!



ひび美咲 Hibi Misaki 名東区

[役職] • 財政福祉委員会 委員
• 防災・エネルギー対策特別委員会 委員

2018年 春号

[政策ポリシー]

- チルドレンファースト
- 社会を幅広い世代で支え合う
- 安心・豊かさ・平和の継承
- 都市魅力の向上

Nagoya Minshu Press

News Letter

Check!
部活を守ります!

先日、小学校の部活動が廃止になってしまうのではないかと報道がありました。

結論から言えばサッカーやバスケットボールなどのスポーツ活動、合唱や吹奏楽など文化活動はなくなりませんし、今まで通り運動場や体育館、教室も使用できます。

学校の先生が子どもと向き合う時間を増やすことを重点におき、教員に代わる指導者を確保していくという方向性が教育委員会から示されましたが、「子どもたちの活動機会がなくなる」ことは絶対にありません。今後も子どもたちが何も心配せずに学校生活を送れるよう、私たちは取り組んでいきます。

City of Nagoya

議会だより

2月定例会

～代表質問より～

Pick up

市立病院の経営形態のあり方について

「市立病院は、依然として経営が厳しい状態にあり、安定した経営のもとで、安心・安全で質の高い医療を継続的に提供するために、市立病院を市立大学の附属病院にすることも検討してはどうか。」の問いに対し、

病院局長は「早急にメリット・デメリット等を調査・分析し、地方独立行政法人化の選択肢のひとつとして『市立大学附属病院化』を検討していく。」と答え、河村市長からは「賛成です。」との答弁がありました。

認知症施策の推進について

「名古屋市で認知症による行方不明者が485名いると聞く。本市としてさまざまな取り組みと課題意識を持っているのはわかるが、この行方不明者を0にする方策が必要ではないか。なかでも地域で支える仕組みづくりが最も大切ではないか。」の問いに対し、健康福祉局長は「認知症の方や、介護するご家族への支援はもちろんであるが、地域の見守りの目を増やす取り組みをより一層推進していく。」との答弁がありました。

名古屋民主市議団を代表して、政審会長である山田昌弘氏が登壇し、本会議において、持ち時間75分の大部分を「次代を担う子どもたちが希望をもって生きていくことができる社会をつくること」をテーマに、8項目について質問をしました。その中でも、2つの項目について、詳しくご報告いたします。



緑区をもっと豊かに!
市政をもっと身近に!

私は『緑区をもっと豊かに』をモットーに、緑区、そして名古屋市のさらなる発展のため、行政との「窓口役」として地域の声を誠実に届け、ひとつひとつ実現に向けて取り組みます。



岡本やすひろ Okamoto Yasuhiro 緑区

- [役職]
- 名古屋市監査委員
 - 経済水道委員会 副委員長
 - 公社対策特別委員会 委員

全国に誇れる
名古屋の街づくりを
推進します。

明日へ、未来へ、責任と実行力のある地域施策を推進します。日本一の先進医療都市、子育て日本一の都市、心通う福祉充実の都市、全国から世界から人々が集う観光都市など魅力と活力溢れる名古屋へ向け、力強く前進を図ります。



おくむら文洋 Okumura Fumihiko 昭和区

- [役職]
- 都市消防委員会 委員
 - 産業・歴史文化・観光戦略特別委員会 委員
 - *名古屋民主市会議員団 顧問

暮らしをまもる・命を
まもる・自然をまもる。

「名古屋に住んでよかった」こんな声を聞くために「暮らし」・「命」・「自然」をまもる、こんな思いで市政に取り組んでいます。子どもから高齢者まで、各世代の様々な多くの問題解決のため全力を尽くします。



松本まもる Matsumoto Mamoru 緑区

- [役職]
- 議会運営委員会 委員
 - 財政福祉委員会 委員
 - 安心・安全なまちづくり対策特別委員会 副委員長
 - *名古屋民主市会議員団 副幹事長

生活する人の立場で。
働く人の立場で。

私たちの街、天白区は地下鉄も便利な住宅地でありながら、中心部には川が流れ、緑地も多く残っています。これら自然の恩恵を大切にしながら、いかに共存していくかがテーマです。常に働く女性の目線で活動しています。



田中りか Tanaka Rika 天白区

- [役職]
- 教育子ども委員会 委員長
 - 安心・安全なまちづくり対策特別委員会 委員
 - 名古屋競輪組合 監査委員

2018年 春号

[政策ポリシー]

- ・チルドレンファースト
- ・社会を幅広い世代で支え合う
- ・安心・豊かさ・平和の継承
- ・都市魅力の向上

Nagoya Minshu Press

News Letter

Check! 部活を守ります!



先日、小学校の部活動が廃止になってしまうのではないかと報道がありました。

結論から言えばサッカーやバスケットボールなどのスポーツ活動、合唱や吹奏楽など文化活動はなくなりませんし、今まで通り運動場や体育館、教室も使用できます。

学校の先生が子どもと向き合う時間を増やすことを重点におき、教員に代わる指導者を確保していくという方向性が教育委員会から示されましたが、「子どもたちの活動機会がなくなる」ことは絶対にありません。今後も子どもたちが何も心配せずに学校生活を送れるよう、私たちは取り組んでいきます。

City of Nagoya

議会だより

2月定例会

～代表質問より～

Pick up

市立病院の経営形態のあり方について

「市立病院は、依然として経営が厳しい状態にあり、安定した経営のもとで、安心・安全で質の高い医療を継続的に提供するために、市立病院を市立大学の附属病院にすることも検討してはどうか。」の問いに対し、

病院局長は「早急にメリット・デメリット等を調査・分析し、地方独立行政法人化の選択肢のひとつとして『市立大学附属病院化』を検討していく。」と答え、河村市長からは「賛成です。」との答弁がありました。

認知症施策の推進について

「名古屋市で認知症による行方不明者が485名いると聞く。本市としてさまざまな取り組みと課題意識を持っているのはわかるが、この行方不明者を0にする方策が必要ではないか。なかでも地域で支える仕組みづくりが最も大切ではないか。」の問いに対し、健康福祉局長は「認知症の方や、介護するご家族への支援はもちろんであるが、地域の見守りの目を増やす取り組みをより一層推進していく。」との答弁がありました。

名古屋民主市議団を代表して、政審会長である山田昌弘氏が登壇し、本会議において、持ち時間75分の大部分を「次代を担う子どもたちが希望をもって生きていくことができる社会をつくること」をテーマに、8項目について質問をしました。その中でも、2つの項目について、詳しくご報告いたします。



敬老パスを
名鉄・JRでも
利用可能に!

高齢者福祉における地域間格差を是正するために、敬老パスを他の交通機関にも利用拡大できるよう、先頭に立って取り組んでいます。生まれ育った南区のために、地域密着・現場主義をモットーに、常に全力投球!



橋本ひろき Hashimoto Hiroki

南区

- [役職] ・名古屋市長 副議長
・土木交通委員会 委員
・産業・歴史文化・観光戦略特別委員会 委員

目線は低く志は高く。
未来への責任。

命を守るために、南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた防災減災対策を実施します。また、レゴランドのオープンに加えて、金城ふ頭と名古屋駅を結ぶ水上交通網(中川運河経由)も実現の運びとなりました。これからも港エリアの魅力向上と整備を推進していきます。



加藤かずと Kato Kazuto

港区

- [役職] ・教育子ども委員会 委員
・防災・エネルギー対策特別委員会 委員
*名古屋民主市議員団 財務委員長

皆さんの声を大切に!
働く者・生活者の目線!

議員活動の原動力は、地域にお住まいの方々からいただく声です。地域にはそこにお住まいの方にしかわからない課題があります。誰が主役で、誰のために、何のためにかをしっかり見据え、市政に取り組んでまいります。



土居よしもと Doi Yoshimoto

瑞穂区

- [役職] ・土木交通委員会 副委員長
・大都市制度・広域連携促進特別委員会 委員
*名古屋民主市議員団 広報委員長

熱田区を元気に!
安心して暮らせる街!

「そだてたいまもりたいあったか熱田」をモットーに、約21年間の小学校教員としての経験を十分に活かし、未来を担うすべての子どもたちのために精一杯頑張ります。安心して暮らせる名古屋市・熱田区となるよう、皆様方からいただいた声を、しっかりと市政の場に届けます!



森ともお Mori Tomoo

熱田区

- [役職] ・議会運営委員会 委員
・経済水道委員会 委員
・公社対策特別委員会 副委員長
*名古屋民主市議員団 幹事

Check! 
部活を守ります!



先日、小学校の部活動が廃止になってしまうのではないかと報道がありました。

結論から言えばサッカーやバスケットボールなどのスポーツ活動、合唱や吹奏楽など文化活動はなくなりませんし、今まで通り運動場や体育館、教室も使用できます。

学校の先生が子どもと向き合う時間を増やすことを重点におき、教員に代わる指導者を確保していくという方向性が教育委員会から示されましたが、「子どもたちの活動機会がなくなる」ことは絶対にありません。今後も子どもたちが何も心配せずに学校生活を送れるよう、私たちは取り組んでいきます。

City of Nagoya

議会だより

2月定例会

～代表質問より～

Pick up

市立病院の経営形態のあり方について

「市立病院は、依然として経営が厳しい状態にあり、安定した経営のもとで、安心・安全で質の高い医療を継続的に提供するために、市立病院を市立大学の附属病院にすることも検討してはどうか。」の問いに対し、

病院局長は「早急にメリット・デメリット等を調査・分析し、地方独立行政法人化の選択肢のひとつとして『市立大学附属病院化』を検討していく。」と答え、河村市長からは「賛成です。」との答弁がありました。

認知症施策の推進について

「名古屋市で認知症による行方不明者が485名いると聞く。本市としてさまざまな取り組みと課題意識を持っているのはわかるが、この行方不明者を0にする方策が必要ではないか。なかでも地域で支える仕組みづくりが最も大切ではないか。」の問いに対し、健康福祉局長は「認知症の方や、介護するご家族への支援はもちろんであるが、地域の見守りの目を増やす取り組みをより一層推進していく。」との答弁がありました。

名古屋民主市議団を代表して、政審会長である山田昌弘氏が登壇し、本会議において、持ち時間75分の大部分を「次代を担う子どもたちが希望をもって生きていくことができる社会をつくること」をテーマに、8項目について質問をしました。その中でも、2つの項目について、詳しくご報告いたします。



2018年 春号

[政策ポリシー]

- チルドレンファースト
- 社会を幅広い世代で支え合う
- 安心・豊かさ・平和の継承
- 都市魅力の向上

Nagoya Minshu Press News Letter

私たちのお約束



時速500km超で走るリニア中央新幹線の2027年開業を見据え、世界に羽ばたく国際都市名古屋の建設に努力します。また、少子・高齢化社会に対応できるよう、教育と福祉の充実に努めます。

生かします
あなたの声を
明るく未来に。



久野浩平 Kuno Kouhei

中川区

現12期 昭和11年9月生まれ
法政大学法学部法律学科卒業

- [役職]
- 総務環境委員会 委員
 - 都市活力向上特別委員会 委員
 - *名古屋民主市会議員団 常任顧問

子どもたちの
幸せな未来のために
頑張ります!



未来を担う子どもたち一人ひとりが大きな夢を抱き、心豊かに、健やかに成長することができる「夢あふれ、心通い合うまちなごや」の実現とともに、「平和な世界をリードする日本」を手渡す大人社会の責任を果たします。

うかい春美 Ukai Harumi

中村区

現5期 昭和24年3月生まれ
愛知教育大学卒業

- [役職]
- 議会運営委員会 委員
 - 財政福祉委員会 委員
 - 大都市制度・広域連携促進特別委員会 委員
 - *名古屋民主市会議員団 副団長・幹事